

2020年4月29日

令和2年度補正予算案 討論

衆議院議員 小川淳也

野党共同会派の小川淳也です。会派を代表して令和2年度補正予算案に対する討論を行わせていただきます。

まず感染症を巡る全ての犠牲者に心から哀悼の意を、闘病中の皆様に心からお見舞いを、さらに今この瞬間も、決死のご尽力をいただいている医療関係者の皆様、この環境下でなお仕事を休まず、休めず、日々国民生活を支え、現場でご貢献いただいている皆様に、心から敬意を表します。

加えて、資金繰りを含め未曾有の不安に怯える多くの事業主、そこで働く皆様、そして苦しい自粛生活に耐えることを通して、ともに闘う全ての国民の皆様に、心より連帯の意を表します。

かつてペストの流行は70年続き、世界人口5億のうち1億人が亡くなったと言われていました。しかし、これが後に自由主義の思想を産み、ルネサンスや資本主義につながったとも言われます。コレラの被害は上下水道の整備に、スペイン風邪の流行は第一次世界大戦の終結に、大きく影響したと言われ、正に人類の歴史は感染症との闘いであり、その過程で社会と暮らしを大きく変革して来たのです。

我々はこのコロナの禍をいかに克服し、その後の世界をどう描くか、いかに犠牲を抑え、不安を払拭し、人々の連帯と絆を守るか、医療や科学技術のみならず、政治と社会の底力が問われています。

私たち立国社は本補正予算案に賛成致します。しかし、課題は多く批判的立場からの検証について、どうか総理には謙虚にお聞きいただきたいと思います。

まず万事対応が後手に回り、事態の悪化や被害の深刻化を招いたのではありませんか。検査の拡大、緊急事態宣言の発出、病床・療養所の確保、医療防具の供給、生活支援、損失補償、全てにおいて対応が遅く、特に本補正予算案の提出過程は誠にお粗末なものでした。既に決定済みの予算を与党内の混乱でひっ

くり返し、無為に時間をやり過ごす、前代未聞の失態です。

当初なぜ30万円だったのか、人数に関係なくなぜ世帯単位だったのか、月間収入を証明することがいかに難しいか、そんなことは初めから分かっていたではありませんか。

結局、公明党から連立離脱をチラつかされ、それに屈するという、正に政局判断で、手のひら返しをしたわけではありませんか。

同じ日、突如として緊急事態宣言が全国一斉に拡大されています。まさかとは思いますが、この失態から目をそらし、批判をかわす政治的思惑があったとすれば、許されることではありません。

思えばこの間、政局や政権のメンツが優先され、国民の健康や生活が後回しになったのではないか、そう疑わざるを得ない局面も多々ありました。

武漢からの帰国者に、最初のチャーター便派遣を発表したのは1月26日、正に翌日から、衆議院予算委員会で「さくら問題」が厳しく追及される前の日の夜でした。

諸外国が速やかに決定した中国全土からの入国制限は、ついに習主席の来日延期が決まるまで見送られました。

PCR検査の結果、陽性患者数が増え始めたのも、結局、オリンピックの延期が決まって以降です。

万一これが、言わば政治の技術と言うなら、正に「百術は一誠に如かず」、求められるのは国民の健康と暮らしに対する真摯な憂い、誠実な姿勢、高い使命感と責任感以外にあるはずありません。

マスク配布から十日余り、総理は布マスクをかけた人をご自身以外で見たことはありますか。総理と総理秘書官が、意地になって着用している以外、私は見たことがありません。閣僚はおろか、与党議員すらしていないのではありませんか。

ここに400億以上の予算を計上し、調達過程も不透明、不良品三昧による回収経過を含め、その政策判断と政治責任は厳しく問われなければなりません。

依然事態に一刻の猶予もありません。病院に行けず自宅で亡くなる方、様子見が災いし、容体が急変、そのまま帰らぬ人となる方、不審死を遂げ、後に陽性結果が判明する方、救急車のたらい回し、里帰り出産の困難、重病治療の先送り、これらは全て、初動で検査対象を絞りこんだことに起因しているのではありませんか。被害の相当部分は人災と言えるのではないのでしょうか。

私どもは予算の組替えを提起しました。中小企業への支援を原案の2倍、自治体交付金を原案の5倍、医療機関への支援拡充、旅行キャンペーンは収束後まで凍結、現下の情勢に鑑み是非ご賛同いただきたいのです。

今後、事業主への家賃助成、困窮する学生への支援、第二弾の生活給付金、医師会の検査センターやドライブスルー検査の拡充など、迅速かつ十分な追加対策が必要です。

本補正予算成立後は速やかに、第二次補正予算の編成を求めるものであります。

最後に総理、あえて、雑誌のある投稿の一部をご紹介します。

「モリ」ニモマケズ
「カケ」ニモマケズ
失言ニモ 与党議員ノ 汚職疑惑ニモマケヌ
丈夫ナココロヲモチ

アラユルコトヲ
ジブンノ宣伝ノ カンジョウニ 入レ

追及ハ 聞カズ

東ニ 新型コロナ ヲ恐レル人 アレバ
行ッテ 自己責任デ 頑張レト 言ヒ

西ニ 疲レタ 地方 アレバ

行ッテ 地方創生ダ ト 励マシ

南ニ 基地反対ヲ叫ブ 沖縄県民アレバ
行カズニ 安保ノタメニ 犠牲トナレト言ヒ

北ニTPP反対 ヲ叫ブ 農協アレバ
コレカラハ 攻メノ 農業ダ
タダシ 選挙ノ時ハ 投票頼ム ト言ヒ

左ニ 疑惑ヲ 追及スル 野党アレバ
意味ノ無イ 質問ダヨ、モット建設的ナ 議論ヲシヤウト 野次ヲ飛バシ

台風ノ時ハ 与党デ 宴会ヲ開キ
春ハ 数千人ト 桜ヲ 共ニ見ル

ミンナニ 他ヨリマシト 選バレ
ホメラレルホド 外交成果モナク…

ご存知「雨にも負けず」に倣った、痛切な批判です。もちろん総理に異論も反論もあるでしょう。

しかし少々ショックなのは、これが高校生による投稿だということです。若い青年にこのように感じさせることの重みをどう受け止めるかということです。

先の報道調査によれば、国民が次期総理に求めるのは、何により「誠実さ」だと言うではありませんか。逆に言えば、この国の政治は、そこまで品位と信頼を落とすめたということです。

どうか総理、もちろん私たち野党と共にです、その懸念と責任を深くご自覚、自省していただき、今後更に必要となる追加対策に、迅速かつ誠実に取り組んでいただくよう心からお願い申し上げます、私の討論とさせていただきます。